

就職フェア2023

学校法人

大阪滋慶学園

次代へ羽ばたく学生の“夢”実現サポート

3年ぶり大規模開催 工夫凝らしニーズに応える

大阪滋慶学園は医療・福祉系、AI系、バイオ・再生医療系への就職を希望する学生と求人企業とのマッチングを行う「就職フェア2023」を大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開いた。今回のテーマは「君の未来は今日の一步から始まる〜明日への種を蒔こう〜」。学生1641人と78事業所が参加、3年ぶりの大規模開催とあって会場は熱気にあふれた。



君の未来は今日の一步から始まる
〜明日への種を蒔こう〜

時代に応じた方式で満足度高める

大阪滋慶学園が就職フェアを初めて開催したのは05年。140事業所がブースを出展し、生に対して直接説明する機会として就職フェアが生まれた。当初は大阪府立体育館、その後は大阪城ホールへと大阪を代表する会場で大規模開催で毎年開くようになった。規模就職フェアは他にないもので、参加する事業所は年々増えていく。大阪滋慶学園は、就職フェアを単なる就職活動の場としてではなく、学生が夢を実現するためのサポートの場として、時代に合わせた方式で満足度を高めることに注力している。



開会式のあいさつで、理事長は「就職フェアは、学生たちが夢を実現するための重要な機会です。今回も多くの企業が参加し、学生たちの未来をサポートします」と述べた。



事業所の説明に熱心に耳を傾ける学生たち

第二専門職習得のための教育も

大阪滋慶学園は大学・大学院、専門学校、高校の計13校を運営する。1987年の開学以来、「職業人教育を通して社会に貢献する」をミッションに、「実学教育」「人間教育」「国際教育」の三つの建学理念を基に、医療・福祉、保健・ハイクラス分野の高等職業人材を送り出してきた。就職に有利となる国家資格の合格率も極めて高く、全国平均を上回っている。学校運営、教育内容においても、時代や産業構造の変化に即している。第二専門職習得のための教育も、大阪滋慶学園の各校で特定の専門職になるための教育を受けた卒業生が、第一の専門スキル習得を求めている。

学校法人大阪滋慶学園		国家資格 総取得者数	
看護師	4,633人※1	はり師	2,105人
理学療法士	1,691人	きゅう師	2,116人
作業療法士	1,339人	診療放射線技師	44人※2
臨床検査技師	1,758人	介護福祉士	2,202人
臨床工学技士	2,952人	精神保健福祉士	1,506人
柔道整復師	2,320人	社会福祉士	996人
言語聴覚士	1,291人	救急救命士	2,120人
視能訓練士	1,230人	歯科技工士	6,693人
保育士	462人	歯科衛生士	2,061人

※1：通信教育含む ※2：2023年度より

就職フェア2023 学生コメント



参加施設に関心、見学したい

小さいころから一人の役に立つ仕事がしたいと漠然と考えていました。介護福祉士は利用者だけでなく、その家族など周りの人の役に立てる仕事だと知り志しました。

大阪保健福祉専門学校介護福祉科2年生

崎山 ひかるさん

の状況などを知ることができ、また、医療行為である喀痰吸引の資格取得も目指すことができそうです。学生の間に取得可能な専門学校はまだ少ないので、この機会に医療的な知識も身につけるために取得を目指しています。

今回の就職フェアには自宅から近く、以前から知っていた施設が参加されていて、話を聞き、興味があったので、職場見学をさせていたきたいと思っています。



卒業生から情報聞く機会も

私は幼いころの祖母の入院がきっかけで看護師を目指そうになりました。担当看護師は、祖母だけではなく、小さい私や、家族にも気を配ってくれる素敵な人でした。看護師を志し、オープンキャンパスに何校か参加するなかで、学生が生き生きとしていること、教員との距離の近さから当校を選択しました。1年生の実習では、発

大阪医療看護専門学校看護学科3年

森川 蒼さん

語が難しい患者に苦戦しました。学習したコミュニケーション方法を用い、最終日に「いい看護師になれる、がんばれ」と一生懸命言ってくれた言葉が深く印象に残っています。

当校は就職サポートも手厚く、卒業生からも情報を聞く機会があります。学生生活でも同じ目標を持つ仲間と一緒に会え、とても充実しています。

将来は祖母の担当だった看護師のように、患者・家族に寄り添える看護師になりたいと思います。



必要なフォローしてくれる

将来の職業を選択するにあたって、医療事務に従事する母が臨床検査技師という職業があることを教えてくれました。表に立つて自立した仕事ではないけれど、緑の下の方でしっかりと活躍できる職種として非常に魅力を感じました。資格取得を考えた時、合格率の高さ

大阪医療技術学園専門学校臨床検査技師科3年

四至本 彩羽さん

や、研修制度が充実している大阪滋慶学園が真っ先に候補となりました。日々の学びの中で生体の解剖などを経験し、自分自身の成長につながりました。就職に際しても、自ら率先して動けば学校側がフォローをしてくれるし、学校には卒業生が残してくれた資料も多く、本場に役に立っています。将来は医療人として一人一人に頼られ、寄り添う存在になりたいです。

